

# 海外生活 エッセー

ソウル事務所

## 韓国航空会社における機内食ビジネス ～コロナ禍における「コト消費」～

(一財)自治体国際化協会ソウル事務所 所長補佐 高村 謙介 (愛媛県派遣)

旅行の楽しみ方は十人十色ですが、期待を膨らませながら現地に着くまでの「空の旅」も高揚感を演出する要素の1つではないでしょうか。今回は、新型コロナウイルス感染症によって世界中の航空会社が苦境に立たされている中、韓国航空会社の機内食ビジネスについてご紹介します。

### → 旅行の味「ヨヘン・マツ」

芸術系大学が立地し、アートな雰囲気漂っている若者の街「弘大(ホンデ)」。このエリアは、おしゃれなレストランやカフェが多いことで有名ですが、済州特別自治道の本拠地とするチェジュ航空では、「旅行の幸せを味わう(ヨヘンエ・ヘンボグル・マツポダ)」を略した「旅行の味(ヨヘン・マツ)」という機内食レストランを同エリアの商業施設内に期間限定でオープンしました。



商業施設内で運営されるレストラン (筆者撮影)

「ヨヘン・マツ」は、同社のカラーリングであるオレンジを基調としており、入口には搭乗ゲート、メニュー



機内食を提供する客室乗務員 (チェジュ航空提供)

表にはフライトの案内表示板、壁には客室窓がデザインされるなど、実際に空港の待合ロビーから機内に搭乗していくような疑似体験を味わう

ことができます。

また、通常の機内サービスと同様に客室乗務員が販売カートで機内食を運んでくれるほか、子ども向けの風船プレゼントや客室乗務員によるタロット占いなど、韓国航空会社ならではの企画も楽しむことができます。

### → 自宅で楽しむ機内食「簡便食」

ソウル特別市を本拠地とするジンエアーでは、自社の機内食を自宅で簡単に調理できる「簡便食(カンピョンシク)」を同社ホームページでオンライン販売しています。

購入者同士でパッケージと調理方法が記載された搭乗券を撮影し、ブログやソーシャルメディア(SNS)に掲載し合うなど、韓国内では機内食の魅力にも注目が集まっています。



機内食パッケージと搭乗券 (ジンエアー提供)

### → 日常生活でも「コト消費」へ

韓国国内では商品やサービスを購入して実体験できる「コト消費」への関心が高まっています。各社ともコロナ禍後の競争を見据えた「消費者の記憶に残る商品・サービス」の開発が活発となっていますが、一刻も早く新型コロナウイルスが収束し、日韓の自由な旅行が再開されることを切に願っています。